

自己肯定感が高まり、友達とのかかわりを楽しめる学級づくり

～3者連携日記とCSSが一体化した、「びかチャレノート」の実践を通して～

生徒指導・教育相談班 西田 麻規（小学校教諭）



【学級（小3）の課題】

「自己肯定感の低さ」「互いのことに関心が薄く、自己中心的な友だち関係」



解決に向けて

手だて1：自己肯定感を高めるために

手だて2：互いのことに関心をもたせるために

個へのアプローチ

<3者で行う毎日の日記交換>

集団へのアプローチ

<CSSの育成>

CSSとは

「CSS： Classroom Social Skills（学級で必要とされるソーシャルスキル）」とは、親和的で建設的にまとまった学級で子どもたちが活用しているソーシャルスキルを整理したもの。河村茂雄氏が名付けた。

ユニバーサルデザインの考えに

基づいたCSS

☆理想的な集団形成のプロセス☆

レベル1：誰とでも2人組で活動できる

（1学期）ペアで係のお仕事ウォッチング

レベル2：4～6人組の小集団で楽しく活動できる

（10～11月）人生の切り札 さそい上手、さそわれ上手

レベル3：男女にかかわらず8～10人の中集団で活動できる

（8～9月）見のがすな！相手のNGサイン グループ活動NGランキング

レベル4：学級の誰とでも一緒に活動できる

（12月以降）リーダー上手、メンバー上手 ハッピー返し

集団が形成するための段階をレベル1～レベル4に設定しました

保護者

自信がつくコメントの書き方を助言

担任



プラスの言葉



賞賛・励まし

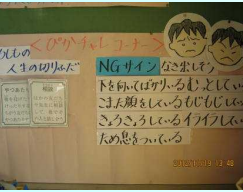
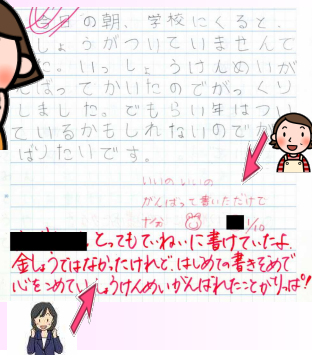
良好な親子関係
家庭の教育力の向上



児童

お母さんや先生に
毎日ほめてもらえて
うれしいな！

自分に自信がついたよ



こんな時、
なんて言
つたらいい
かな？



「びかチャレノート」の名前の由来は、「びかびかえ顔のなかよし組 なんでもチャレンジががんばる1組」の学級目標です。



手だて3：日常でのCSSの定着化のために

日記とCSSの実践を「びかチャレノート」に一体化

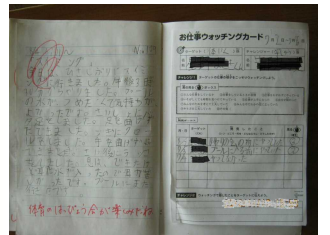
普段の日記の他に
CSSの授業の振り返りや自分の頑張り
をテーマに日記を
書くよ。

それに
ついても→

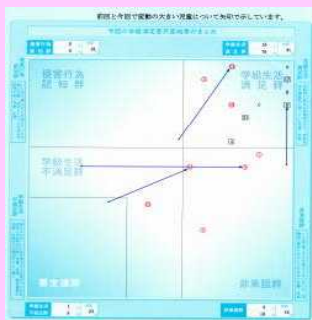


担任や保護者によるタイムリーなコメントや、児童が日常で実践したCSSに対する賞賛

実施したCSSが定着！



ノートの最終ページ（裏表紙）にCSSのスキルシートとワークシートを、毎回取りためていきました。



HyperQ-Uの結果(5月→11月)
学級生活満足群:62%→76%
学級生活不満足群:14%→5%
学級に居心地のよさを感じる児童が増加

<成果>

- 学校や家庭での頑張りをはめたり励ましたりするコメントから、児童は担任と保護者から認められていることを実感し、自己肯定感を高めた。
- C&S質問紙やHyperQ-U、担任の見取りから分析した、学級の実態に合ったCSSを計画的に育成できたことは、友だちとのかかわりを楽しめる学級づくりに有効であった。

<課題>

児童の自己肯定感を高める、保護者の働きかけ方について研究していく必要がある。

